



ぱんだ組 あにまる通信 NO. 3



R4.6.27

登園すると設定してあるコーナーを見て、「お店屋さんしたい」と言いすぐに身支度を整える子もいるほど、ごっこ遊びが大好きな子どもたちです。また、園庭や遊戯室に行ってもカウンターや平均台を見つけ「いらっしやいませ～」という声が飛び交っています。遊びの中で周りの人への興味が広がり、保育者や友だちの遊びや言葉を真似したりし、楽しんでいる姿が見られます。

ママごと遊びの時、1ちゃんの「いらっしやいませ～」という声からごっこ遊びが、だんだんと盛り上がってきました。保育者が廃材で作った手作りのドーナツやお弁当のおかずを使いごっこ遊びを楽しんでいます。

保「から揚げください」

子「無いでーす！」

と、笑顔で即答されることもありました。

ぱんだ組のお店屋さんは、お弁当作りに毎日忙しいそうです。



「いらっしやいませ～！
何にしますか？」



どれにしようかな～？



「かんぱーい！」



「あーん」



「おやすみ」



「ねんねよ」



「ドーナツ
食べる？」

みんなで片づけをしている途中にこんな人形を発見！服を着ていない人形にハンカチをかけ、お鍋の帽子をかぶっていました。思わず職員間でクスッと笑ってしまいました。

おねがい

- ・ナイロン袋をオムツ袋の中に名前記入し入れてください。汚れたものや、濡れたものを入れます。
- ・汚れものとして持ち帰った着替えは、翌日に着替えた分の枚数を持たせて下さい。また、名前が無い物や、消えかかっているものも多く見られます。間違いを防ぐため、再度確認し大きくはっきりと記入をお願いします。

保育者や友だちと関わり、遊ぶことが増えてきました。同じ玩具でも、友だちの持っているものが、魅力的に感じ取り合いになる姿も見られます。そんな時は、「欲しかったね」と気持ちを受け止める言葉かけをしています。受けとめてもらう事で、少し気持ちが落ち着き、少しずつ自分の中で折り合いを、つけられるようになってきています。まだまだ我慢できない事も多く一人一人の思いが強いため、友だちとぶつかることもあります。子ども達同士の関りを見守り、時には丁寧に仲立ちしていきたいと思います。